

「ペチジンを使用した上部消化管内視鏡における食道胃接合部の視認性の調査」
へのご協力お願い

■ **研究の対象**

2017/8/7～2019年6月31日に亀田クリニック健康管理センターに受診をなされ、上部消化管内視鏡検診をお受けになられた受診者様。

■ **研究実施期間**

2019年2月14～2020年12月30日

■ **この検討の意義と目的**

日本において、上部消化管内視鏡(胃カメラ)を楽にするための注射薬は鎮静剤という意識が低下する薬剤が主に使用されております。しかしこれらの薬剤は食道と胃の接合部における視認性低下が起きることが示唆されています。この部位の視認性は深吸気を行うことで向上しますが、意識の低下があると深吸気を行う事が困難になるため視認性が低下すると考えられます。一方、当院では上部消化管内視鏡を楽にするための注射薬は、意識の低下が非常に少ない鎮痛剤を主に使用しています。本研究は鎮痛剤を使用した場合の食道と胃の接合部における視認性を調査します。

■ **検討の方法**

内視鏡結果や背景因子の情報を健診システムや電子カルテから抽出します。

■ **取り扱う診療情報(データ)**

内視鏡の結果レポートや記録画像、性別や年齢などの背景情報を使用します。集計後は個人情報
は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

■ **情報の保護**

情報は亀田メディカルセンターの研究施設内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード
等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人や医療機関を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

■ **問い合わせ窓口**

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用され
ることについてご了承いただけない場合には研究対象から除きますので、2019年7月10日までの
間に下記の連絡先までお申し出ください。

亀田クリニック 健康管理科

職名: 医長 氏名: 馬嶋健一郎

電話: 04-7092-2211(代) FAX: 04-7093-0420